科目名 Subject	インターンシップ Internship		教員名	大野　淑子	
開講年次	1	開講時期	前期	単位	1
必修／選択	選択	授業形態	演習	時間	30
実践的教育	○				
主な学習効果	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体的行動力	ホスピタリティ・ コミュニケーション力
	◎	◎	◎	◎	◎
科目の概要	インターンシップの意味や目的、社会常識やコミュニケーションスキルについて事前教育を行い実践に臨む。一定期間、企業等で仕事を体験することにより、社会人として働くとはどういうことか、また社会人として必要な心構えや、知識、技術はどのようなものか、について学ぶ。行先により時期が異なるが、夏のインターンシップは８月～９月、春のインターンシップは２月～３月に１０日間～１か月間実施する。終了後に各専攻及び全体でインターンシップ報告会を行う。				
授業の目標	企業等で就業体験を行うことによって、企業や会社について学び自分の進路検討を現実的に捉えることができる。さらに働く人達との交流を通して、社会人として必要なスキルや能力を認識し、その後の学生生活で自分のすべきことが把握できる。				
時間外学習 （予習・復習）	企業研究、コミュニケーション力の強化など各自自覚を持って準備します。インターンシップ期間は業務内容や学んだことを整理し日々日誌をまとめながら理解を深めます。				
教科書・教材	教科書	教員作成資料			
	教材	教員作成資料			
	使用設備・備品	ipad・PC他			
	参考文献	「インターンシップリテラシー」長谷川文代 西文社 2010			
評価方法	事前教育への取り組み姿勢及び課題20%、実習日誌30%、引率教員の評価20%、企業評価30%				
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。				
学生へのフィードバックの方法	個別に実地指導を行います。				
履修上の注意	希望者は事前に選抜面接を行いインターンシップ先を決定します。取り組み姿勢、健康状態によっては希望に添えない場合もあります。また受け入れ企業の事情により実施の変更や中止の可能性があります。				
本科目履修と関連する資格	資格名	特になし			

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第１回	事前教育１　インターンシップを理解する	インターンシップの意味や目的を理解できる	授業で学んだことを整理し理解する（復習60分）
第２回	事前教育２　業界理解①（美容業界）	社会のしくみを理解できる 美齢の視点で企業の取り組みを理解できるようになる	興味のある企業や業界について調べ、働き方について考える（復習60分）
第３回	事前教育３　業界理解②（その他の業界）	社会のしくみを理解できる 美齢の視点で企業の取り組みを理解できるようになる	興味のある企業や業界について調べ、働き方について考える（復習60分）
第４回	事前教育４　インターンシップ先の決定	自己分析を行いインターンシップの受け入れ企業が理解できる	インターンシップ先の企業について徹底的に調べる（復習60分）
第５回	事前教育５　履歴書作成	志望動機をまとめることができる	自己ＰＲや志望動機を自分の言葉で伝えられるよう練習する（復習60分）
第６回	事前教育６　面接対策	面接の受け方が理解できる	面接練習をふりかえる（復習60分）
第７回	事前教育７　事前準備	インターンシップに関するルールが理解できる	インターンシップに向けての確認作業や準備を行う（60分）
第８回	事前教育８　事前訪問準備	事前訪問に向けての準備や確認事項を認識することができる	事前訪問を行う（60～分）
第９回	インターンシップ（10日間～）	目標を持って業務に取組み仕事への理解ができるようになる	業務内容や学んだことを整理し日誌をまとめる（60分）
第１０回	インターンシップ	目標を持って業務に取組み仕事への理解ができるようになる	業務内容や学んだことを整理し日誌をまとめる（60分）
第１１回	インターンシップ	目標を持って業務に取組み仕事への理解ができるようになる	業務内容や学んだことを整理し日誌をまとめる（60分）
第１２回	インターンシップ	目標を持って業務に取組み仕事への理解ができるようになる	業務内容や学んだことを整理し日誌をまとめる（60分）
第１３回	事後教育①　報告	関係する先生や担当者への報告の意味を理解することができる	お礼状の送付（60分）
第１４回	事後教育②　まとめ	経験したことをレポートやプレゼン資料にまとめ、その後の学習に活かすことができる	レポートやプレゼン資料の完成（60分～）
第１５回	事後教育③　成果報告	お互いの学びを共有し今後の学習に活かすことができる	自分の体験をプレゼンテーションできるよう準備する。友達の発表から共感したものを活用する（60分～）